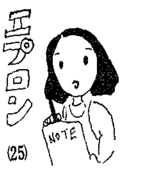


エプロン特派員(25)

自然との対話、園芸が一番
園芸センターに行ってきました

各地で色々の花のたよりが春たけなわを知らせてくれるきょうこのごろ。木の芽は日増しに活発になり、春の日光と大地の水分を吸収して成長する季節でもあるようです。そんな春の一日、私は市の園芸センターを訪れてみました。

園芸相談は七千件以上

ニコニコと園芸センター所長の保科正次さんが迎えてくれ、見通しの良い本館に腰をおろすと、そこには園芸の本や肥料の見本などが数々そろっていました。ここを訪ねた方にこういうものを参考にして勉強していただいているとのことでした。窓の外は今を盛りのツツジやアネモネ、チューリップなどが群をなしてすばらしい色彩を競い合っているようでした。場所は静かで、のどかで、落ち着いた環境のJR越後石山駅下車ゼロ分の所です。

所長さんは「米だけに頼る農業は低迷状態なので農業技術とか農業改良の面も含めて農家の方たちと一緒になって試験調査も行っています。また、電話による園芸相談も受けており、相談件数は年間七千件以上にものぼります。現物を持参しての相談が最も適切な回答ができると思います。センターでは花の開花を考えて園内を常に見ごたえのあるものとするため、職員は休日も朝早く来て見回ったり、隠れた苦労もありますが、手入れをしただけの成果を十分に見せてくれます」と話してくれました。

家族連れの憩いの場

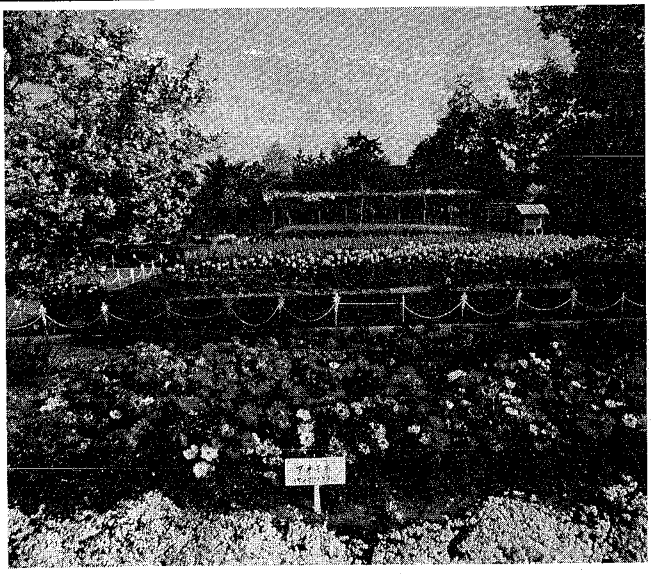
その後、センター内を一回りしましたが、大きな温室がいくつもあり、赤・白・紫の花々がすばらしいアデ姿？で迎えてくれました。私は思わずストンキョウな声をあげ「所長さん、こんな美しい花に囲まれて苦労もご破算ですよ」などと口ばしってしまいました。

熱帯植物は太陽の熱を十分に採り入れてあるせいか巨大で正直びっくりしました。サボテンが電柱の太さもあり天井の方で黄色い花をいっぱい咲かせて私にほほ笑んでいるようでした。

色々の花が咲く中をそぞろ歩きをしていると藤棚があり、ベンチもあり、池もあり、池にはヒブナも泳いでいました。転勤とかの事情によりやむなく置いていかれた魚たちとのことでしたが幸せそうに泳ぎ回っていました。池の回りには花ショウブが取り囲んでいて、これは明治神宮から青山の水道遊園にコシ入れ？してきた苗を株分けしてもらったとのことでした。

小高くなった細道を歩くと生まれて初めてお目にかかった黒竹、亀甲竹がありました。その近くのバラのアーチあたりで所長さんが歩みをとめ、私を振り返り「センターを家族連れの憩いの場として利用していただければ――」と感慨深く話されていました。ちょうど月曜日で休園日でしたので利用者はだれもいませんでしたが家族連れで出かけるに手ごろだな――と思いました。

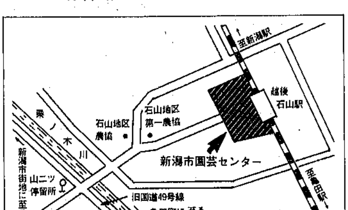
きょう一日、何と心楽しい日であったことか。自然との対話は園芸が一番。満たされた思いで園芸センターを後にしました。



花の楽園、園芸センター

保科所長から説明をうける山崎アヤ子さん

今回の特派員は山崎アヤ子さん(つくし野2)



交通機関

- バス利用―― バスセンターから山二ツ経由新津、亀田、水原、新潟鉄工所、酒屋車庫前行(6.7.8.9番線)に乗車し、山二ツ停留所下車。徒歩6分。
- JR利用―― 信越線、越後石山駅下車。徒歩2分。

利用案内

- 開園時間―― 午前9時から午後4時30分
- 休園日―― 毎週月曜日(ただし月曜日が祝祭日の場合は火曜日) 12月29日から翌年1月3日まで。
- 入園料―― 無料

保健所からの健康情報
中学・高校生のお弁当作りのポイント

昼食は、伸びざかりの子どもたちにとって、一日のうちでも最も活動の激しい時間に食べるものですから、質・量ともに心をくばって良いおべんとうを持たせましょう。

◇栄養 一日の栄養量の三分の一を入れるつもりにします(朝食をぬいたり、簡単に済ませている場合は三分の一よりも多めにします)。

肉・魚・卵を主菜として緑黄野菜や根菜類など煮て食べる野菜や、まめ・いも・海藻類も料理に変化を持たせて詰め合わせましょう。ごはんとおかずは1対2くらいの割合で入れます。

◇下作り 前夜に下作りをして、翌朝必ず火を通します。ひじきのいため煮、煮豆、野菜のピクルスなどの常備菜を作っておくと便利です。肉や魚は前夜に下味をつけて、翌朝いためる・焼くなど野菜類は、ゆでる・きざむなどして密封容器に入れて冷蔵庫で保存すれば朝の調理がスピードアップされます。

◇味つけ ふだんより心もち濃い程度にします。塩から味に少しの甘味・酸味のあるもののとり合わせで味の調和がとれ、平凡な料理でもおいしく感じるものです。

◇色どり ふたを開けた瞬間にぱっと明るくなるような盛り付けは、食欲を一層そそります。色どり、盛り付けのデザインに工夫しましょう。ただし、人工着色料を使ったものは邪道です。ニンジンの赤、サラダ菜のグリーンなど自然の食品の色合いを大切にしましょう。

(西保健所)

3歳児検診

受付時間 午後1時～2時(坂井輪地区は1時20分～2時、西地区、中地区は午後1時半～2時)
対象 昭和59年12月生まれ(北地区は昭和60年1月生まれも含む)
持参品 母子健康手帳、尿(容器は東・西保健所、各地区保健センター、各地区事務所・連絡所、市民課7番窓口に用意してありますので、あらかじめ取りにおいで下さい)
※手話奉仕員の依頼は前日までに連絡

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
6・17	浜浦、白山、鏡淵、大畑、青山、礎、新潟、東青山、有明台、関屋

〈西地区保健センター会場〉

6・28	笠木、小瀬、赤塚、西内野、内野、木山

〈坂井輪地区保健センター会場〉

6・21	五十嵐、真砂、坂井輪、新通、坂井東、小針

〈東保健所会場〉

6・14	大形、曽野木、東曽野木、酒屋、割野、笹口
6・28	万代、南万代、長嶺、沼垂、竹尾、木戸、牡丹山

〈石山地区保健センター会場〉

6・3	中野山、南中野山、山潟、東中野山、丸山、大淵、江南、桜が丘

〈鳥屋野地区保健センター会場〉

6・8	上所、上山、女池、鳥屋野

〈中地区保健センター会場〉

6・15	山の下、桃山、東山の下、下山

〈北地区保健センター会場〉

6・1	松浜、南浜、太夫浜、太郎代、濁川

1歳半児検診

受付時間 午後1時～2時(坂井輪地区、入舟地区は午後1時20分～2時、西地区、中地区は午後1時半～2時)
対象 昭和61年11月生まれ(入舟地区は61年12月生まれも含む)
持参品 母子健康手帳
※手話奉仕員の依頼は前日までに連絡

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
6・2	関屋、有明台、浜浦、白山、鏡淵、大畑、青山、東青山、礎、新潟

〈西地区保健センター会場〉

6・20	内野、西内野、木山、笠木、小瀬、赤塚

〈坂井輪地区保健センター会場〉

6・10	五十嵐、真砂、坂井輪、新通、小針、坂井東

〈入舟地区保健センター会場〉

6・9	入舟、栄、豊照、湊

〈東保健所会場〉

6・9	万代、南万代、長嶺、沼垂、竹尾、木戸、牡丹山
6・23	曽野木、東曽野木、酒屋、割野、大形、笹口

〈中地区保健センター会場〉

6・16	山の下、東山の下、桃山、下山

〈石山地区保健センター会場〉

6・2	中野山、東中野山、南中野山、山潟、桜が丘、江南、丸山、大淵

〈鳥屋野地区保健センター会場〉

6・17	上所、女池、鳥屋野、上山

股関節検診

受付時間 午後1時～2時
対象 昭和63年2月生まれ
持参品 母子健康手帳、料金1,070円
※手話奉仕員の依頼は前日までに連絡

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
6・13	五十嵐、真砂、坂井輪、坂井東、新通、湊、栄、有明台、笠木、小瀬、内野、西内野、入舟、豊照
6・27	小針、青山、東青山、浜浦、関屋、新潟、礎、大畑、白山、鏡淵、木山、赤塚

〈東保健所会場〉

6・10	万代、南万代、長嶺、沼垂、竹尾、木戸、牡丹山、中野山、東中野山、南中野山、山潟、江南、桜が丘、曽野木、東曽野木、丸山、大淵
6・24	南浜、太夫浜、大形、太郎代、松浜、山の下、桃山、東山の下、下山、笹口、上所、女池、上山、鳥屋野、濁川、酒屋、割野

幼児のむし歯予防にフッ素塗布を

受付時間 午前9時半～10時半
対象 1歳半～4歳未満児
持参品 母子健康手帳、タオル、料金750円
申し込み 電話で各会場へ(中地区保健センター会場は東保健所へ申し込むこと)

月日	会場	定員
6/13.27	東保健所	各50人
6/6	鳥屋野地区保健センター	
6/22	石山地区保健センター	
6/20	中地区保健センター	
6/2	西保健所	各45人
6/10	坂井輪地区保健センター	

風しん抗体価検査

日時 6月14日午前9時～9時半受け付け
会場 東・西保健所　**料金** 1,040円
対象 18歳以上の女子(妊婦を除く)
申し込み 電話で各会場へ

離乳食講習会

日時 5月26日午前10時～正午
会場 西保健所
対象 生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん、または保育している人
内容 離乳の上手なすすめ方、離乳食の作り方、試食と話し合いほか
持参品 母子健康手帳
申し込み 当日会場へ

乳児むし歯予防教室

日時 6月3日午前9時半～10時受付、午前11時半終了
会場 西保健所
対象 1歳未満児をお持ちのお母さんまたは保育者30人(先着順)
内容 小児歯科医の講演、歯みがきの実技指導、赤ちゃんの口の中の診査ほか
持参品 母子健康手帳、子供用歯ブラシ、おぶいひも
申し込み 電話で会場へ